

新人議員の展望を聞く

このたびの選挙で当選した新人議員2人に抱負を聞きました。



安部 丘 議員

安部 丘 議員 議会に対する思い

初めての議会を終え、あらためて議会は非常に神聖なものであると感じました。責任を持って意見するため、さまざまな経験や住民の皆さんの声を伺って、自分の中できちんと整理し、議論できるように備えていきたい。

まちの未来を どう考えているのか

飯南町総合戦略は、私の理念に近いと感じています。一歩はなれて観ていて、こうしたらいいと思っていたことがきちんとした絵になっています。これを実行する場面においては、住民の皆さんから十分な理解を得られていないところや、細部において詰めが不十分なところもあるでしょう。そういったところで潤滑油となり、町の将来が開けていく一助になれば良いと思っています。

景山 登美男 議員

どのような議員を目指すのか

行政で38年間お世話になり、住民の皆さんのために仕事をさせてもらってきました。この中で、行政と住民の間の繋がっていない部分を埋めていく役割

を果たしたいと思い、議員を志しました。

行政の立場であったときの反省が立候補の理由であった部分もありますし、行政は常にその行動を正当化する立場にあるものですが、住民の声をしっかりと届けて改善に結び付けて行きたいと思っています。



景山 登美男 議員

町の未来をどう考えているか

選挙のとき掲げた公約は、健康やかで安心して暮らせるまちづくりです。

元気でなくてはいけない、町内にある病院を生かして、誰もが元気で暮らせること、防災や保育所、教育の問題など、みんなが心穏やかに暮らせるような町になったらいいと思っています。

今月の表紙写真



「よし勝てるよ!!」とパートナーに楯を飛ばしているかのように見える一瞬をパチリ。赤名小学校ではこの日、運動会が雨で順延して月曜日の開催となったにも関わらず、応援席は児童の家族や親族で大きな賑わいをみせていました。町内の各小学校でも同じような光景がみられ、暮らしの中で「子どもは地域の宝」だという私達の思いが、親子の絆、家の絆、地域の絆となって飯南の子が育まれていくのだと思います。

編集後記

7月の改選を受け、新しい議会構成が決まりました。議会広報編集委員会も新たな顔ぶれでのスタートです。引き続きご愛読いただけますように、読みやすい紙面づくりや、「なるほどそういうことか」とご理解をいただける内容に心がけて参ります。

9月議会においては、6人の議員が一般質問を行いました。中でも防災行政無線については、2人の議員が問題を提起しました。台風、地震、火災、大雨、大雪などの災害、そして今はミサイルの飛来など、私達の生活を脅かす事例は益々増え、町民のみな様方への正確な情報の伝達は、何よりも重要性を増してきます。みんなが日々情報に関心を寄せ、危険から身を守るということを意識していただければなりません。

季節の変わり目になり、夏の疲れが出てきます。みな様お身体に気を付けてお過ごしください。

議会広報編集委員長 高橋 英次